

# 小松教育事務所管内 タウンミーティング

11月2日(土) 能美市辰口福祉会館 交流ホール

子どもたちの生きる力を育むつどい in 南加賀  
「子供の自己肯定感を高め、やる気を引き出す関わり方」



最近の教育を取り巻く環境は、家庭や地域社会の教育力の低下、子どもたちの規範意識や公共心の欠如、児童生徒の学力低下など、様々な教育問題に直面しています。

石川県では、教育について県民全体で考える気運を盛り上げる契機として、11月1日を「いしかわ教育の日」とし、また、教育の日にふさわしい取組を集中的に展開する期間として11月1日から7日までを「いしかわ教育ウィーク」と定める条例を平成17年3月に制定しました。

(「いしかわ教育の日～学校・家庭・地域社会のさらなる連携に向けて～」より)

様々な調査における日本と諸外国との比較によると、日本の子供たちの自己肯定感は諸外国と比べて低いという結果が示されています。

今般、学習指導要領において「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められる中、子供たちの自己肯定感が低く自分に対して自信がないままでは、必要な資質・能力を十分育むことは難しいと言われています。子供たちが自信をもって成長し、より良い社会の担い手となるよう子供たちの自己肯定感を育む取組を進めていくことが求められています。

今回のタウンミーティングでは、子供の自己肯定感を高め、子供の主体性を育み、やる気を引き出す関わり方について、皆様とともに考える機会をもちました。

◇ 開会挨拶

石川県教育委員会小松教育事務所 所長 二口 英一郎

◇ 講演

## 「子供の自己肯定感を高め、やる気を引き出す関わり方」

人財教育家・メンタルコーチ 飯山 暁朗 氏

講演では、具体的な成功事例の紹介とともに、子供の自己肯定感を高め、やる気を引き出す関わり方や、やる気を引き出す3つの法則①「わくわくの願望」②「プラスの言動」③「誰かのために」というお話をいただきました。

子どもたちの豊かな心の育成に向けて学校と保護者、地域がさらに連携することにより、未来ある子供たちの更なる可能性を引き出すことができるようにしていきましょう。



## ～参加の皆様からの感想より～

- ・心に残った言葉は、「誰かのための夢や目標は限界を超える力になる」です。今日はありがとうございました。(保護者)
- ・子供を4人育てる母親です。同じ環境で育ててきましたが、性格は様々。一番下の娘は「やる気」を感じられないので心配していました。でも、今日の講演を聞かせていただいて、親としての関わりも大切だと実感しました。まず、私自身が動作・表情・言葉を変えていけたらと思います。(保護者)
- ・個人的に言霊はあると思っていて、発する言葉はポジティブにするよう心がけています。それを再確認できて良かったです。ただ、子供たちのあきらめが早かったり、夢がなかったりと、どうしたものか…と考えることがあったので、「あなたが喜ばせたい人は誰か?」「それはなぜなのか?」「そのためにどうするか?」などの質問の仕方が効果的だということを知れてとても良かったです。(保護者)
- ・私が取り組んでいる事業で最初はワクワクしていたが、最近は「やらないかん」と思っていることが多くなっていた時期に、お話を聞いて良かった。親がワクワクしている姿を見せることで子がワクワクする良い循環を作っていきたい。ありがとうございました。(保護者)
- ・飯山氏のこれまでの功績から、「こうなりたい!」というワクワクする思いをもつことや努力をする際の言葉や行動の大切さについて学びました。子供たちへの声かけ、自分の見せる姿について考えさせられました。今日教えていただいたことを意識して子供たちに接していこうと思います。ありがとうございました。(教員)
- ・ワクワク感を子供たちに持たせられるような日頃からの働きかけや支援を改めて心がけていきたい。また、自分自身がプラスの言動をしているか振り返る良い機会になった。やる気を引き出すための3つのアイテムを教えていただいたので、学校内にフィードバックしていきたい。(教員)
- ・学校の子供たちの顔を思い浮かべながら聞かせていただきました。ワクワク感を無視した努力を強いていたのではないかと、私自身楽しそうに仕事をしていただけを振り返ることができました。言葉・動作・表情を変えること、誰かのために努力することを自分だけでなく、子供たちにも伝えていきたいと思いました。(教員)
- ・日頃から子供の自己肯定感を高めるにはどうすればよいか頭を悩ませているが、根本的な解決策はなかなか見つからない。今回の講演では、脳科学からのアプローチで具体的な筋道や成果を話していただき大変参考になった。まず、周りの大人がワクワクして子供と接していくこと、プラスの行動や一体感を高めていくこと、誰かのために行動することのすばらしさを地道に伝えていくことを実践していきたい。(教員)



やる気を引き出すために必要な3つの法則は

わくわくの願望・プラスの言動・誰かのために